

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 I氏	6名	和歌山県広川町	経営継承後の法人化と販路拡大	専門家支援3回

相談内容・現状課題

■相談内容

親族との共同経営により柑橘類を栽培しており、最近、叔父から経営権を継承した。数年後に従兄弟も経営に加わる予定であり、法人化を視野に今後の経営形態について相談したい。

また、法人化後の販路拡大についても助言が欲しい。

■現状課題等

- ・経営継承により経営主となったばかりであり、会計や税務に関する支援が必要。
- ・親族との共同経営で法人化すべきか、どのような法人形態が良いか等の検討が必要。
- ・法人化後の販路拡大にあたり、会社のネーミングやロゴ、パッケージデザイン、販売方法等について支援が必要。

相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援体制

経営相談会で大まかな相談内容を把握後、戦略会議において和歌山県よろず支援拠点と連携した支援方針を決定。

- ① 経営継承、法人化:わかやま農業経営サポートセンター【税理士】
- ② 販路拡大:和歌山県よろず支援拠点【マーケティング】

■支援内容

- ① 経営継承、法人化
 - ・経営移譲に伴う税務関係の届出を助言。
 - ・決算書による法人化診断を実施し、法人化のメリットがあることを助言。法人化した場合は社会保険加入による資金流出が大きくなることや、法人独特の税務について説明。
- ② 販路拡大
 - ・会社のネーミングやロゴは、文字だけではなく事業の在り方等を形にすることの重要性を伝え、まずは経営の在り方の構築が先決と助言。
 - ・販路開拓については、直接販売割合を高め、自社のファンづくりのための情報発信が重要であることを助言。

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

専門家のアドバイスを受け、現在の経営状況や法人化の方向性が明確になった。

相談者は、県が実施する農業経営塾を受講しており、法人化を見据えた経営理念づくりとそれに基づく経営計画づくりを通じて経営の在り方を構築しているところ。

2年後の法人化を視野に、今後は販路拡大や農園のブランド化に取り組んでいく考え。



育てた柑橘とともに

■コーディネーター所感

相談内容に応じて県よろず支援拠点とわかやま農業経営サポートセンターで連携して対応し、それぞれの分野に特化した専門家を派遣することができた。

相談者は2年後を目処に法人化を目指していることから、必要に応じて支援を行っていきたい。